

令和7年4月7日

日本弁理士会 広報センター

記者説明会開催のご案内（令和7年4月22日）

- ・ 日本弁理士会 会長就任挨拶及び重点施策の説明
～弁理士ならではのコンサルティングの魅力～
- ・ 日本弁理士会 生成AI利用指針を公表
～弁理士がAIを安全・適正に利用するための基本指針を策定しました～

【第1部：会長就任挨拶及び重点施策説明】

今年の4月1日をもって会長に就任した北村 修一郎（きたむら しゅういちろう）より本年度の事業の重点施策を説明いたします。関東圏以外から会長が選出されたのは、1922年の弁理士会設立以来、初めてのことです。

生成AI、**コンテンツ**の権利保護などの多様な分野で、知財に対する社会の関心が高まっています。日本弁理士会では、本年度、さらに、知財経営支援、標準化等も含む多様な分野の事業において、弁理士ならではの充実した**コンサルティング**を行う姿を、実績に基づいた**ロールモデル**として提示し、見える化します。また、**2025大阪・関西万博**では、学生に最先端技術を体験してもらい、ビジネス技術アイデアコンテストを開催することによって知財人材の教育事業を行います。こうして弁理士業務の魅力を若年層にも届けます。そして、弁理士の知財活動の支援によって**社会の財産を発掘し、生みだし、高める**ことに貢献して参ります。



日本弁理士会会長
北村 修一郎

【第2部：生成AI利用指針を公表】

ー弁理士が生成AIを利用してさらに進化するためにー

弁理士が行う出願や中間手続きの対応において、生成AIを活用する場面が増えています。そこで、生成AIを利用し、弁理士だからこそ提供できる価値を創出するために、日本弁理士会は生成AIの利活用に関するガイドラインを作成しました。

当会会員の桐山 大（きりやま ひろし）より、社会で注目を浴びている生成AIの利活用についてのガイドラインを解説いたします。

昨今、多岐にわたるAI技術の活用が進んでいます。弁理士業務においても、AIの活用が作業効率化やサービス向上の助けになっています。

一方、機密情報や非公開情報を取り扱う弁理士にとっては、情報漏洩リスクや生成AIが生み出す誤情報（ハルシネーション）の問題など、慎重な対処が求められます。こ

うした状況を踏まえ、日本弁理士会は、弁理士の善管注意義務を再確認するとともに、安全・適正にA Iを活用するために本ガイドラインを策定しました。当ガイドラインの内容や策定の背景につき、説明いたします。

【記者説明会後】

記者説明会では、参加いただいた方との対話の時間も設けており、さらに意義深い意見交換を望んでおります。

今回の記者説明会は、日本弁理士会会場にリアル参加又はオンライン参加のいずれかでご参加いただけます。

皆様におかれましては、ご多忙のことと存じますが、ぜひ日本弁理士会会場においてくださいますようお願いいたします。

■日時：令和7年4月22日（火）14：00～15：00

■場所：日本弁理士会14AB会議室 及び Zoom ミーティング
（東京都千代田区霞が関3-2-6 東京倶楽部ビルディング14階）

■テーマ及びスピーカー：

第1部：新会長就任挨拶及び重点施策の説明～弁理士ならではのコンサルティングの魅力～
（日本弁理士会会長 北村 修一郎）

第2部：日本弁理士会 生成A I利用指針を公表 ～弁理士がA Iを安全・適正に利用するための基本指針を策定しました～（A I利活用WG グループ長 桐山 大）

ご出席くださる方におかれましては、4月18日（金）午前中までに、下記の必要事項をメールにてご連絡ください。

①お名前 ②会社名 ③メールアドレス ④参加形式（リアル参加又はZoom参加）

* Zoomでの参加をご希望の方には、追って参加用のURLをご連絡します。

* 記者説明会に関する資料は、当日会場にて配布します。

（Zoomで参加される方には、記者説明会終了後、メールにてお送りします。）

■問合せ先 日本弁理士会 事務局 広報室 泉本 E-mail: kouhou@jpaa.or.jp

